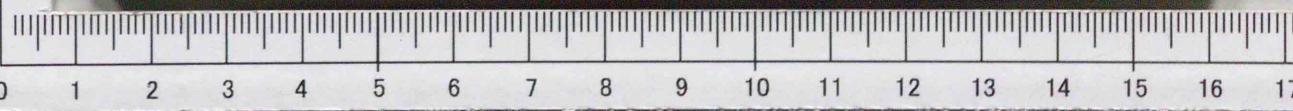
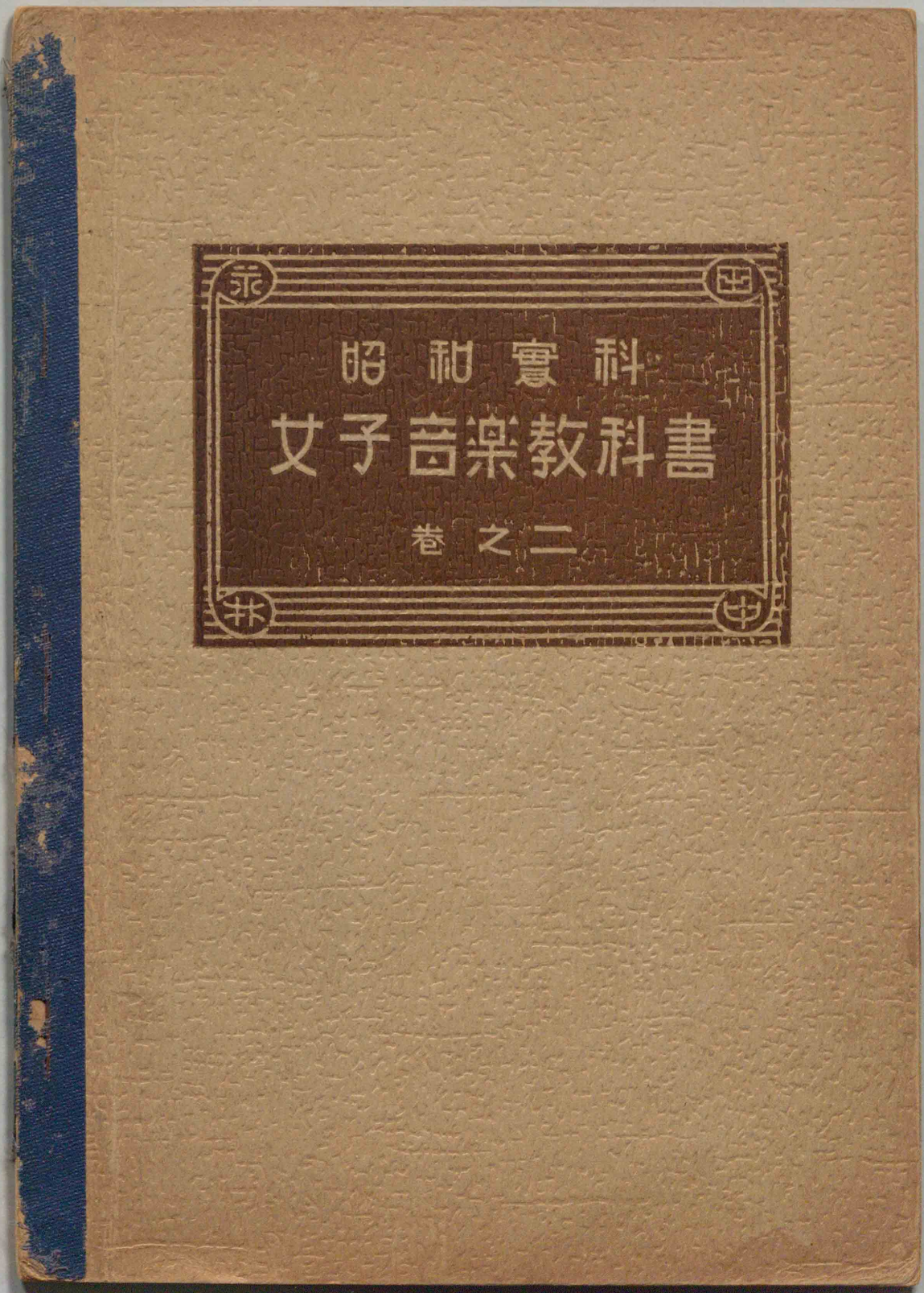
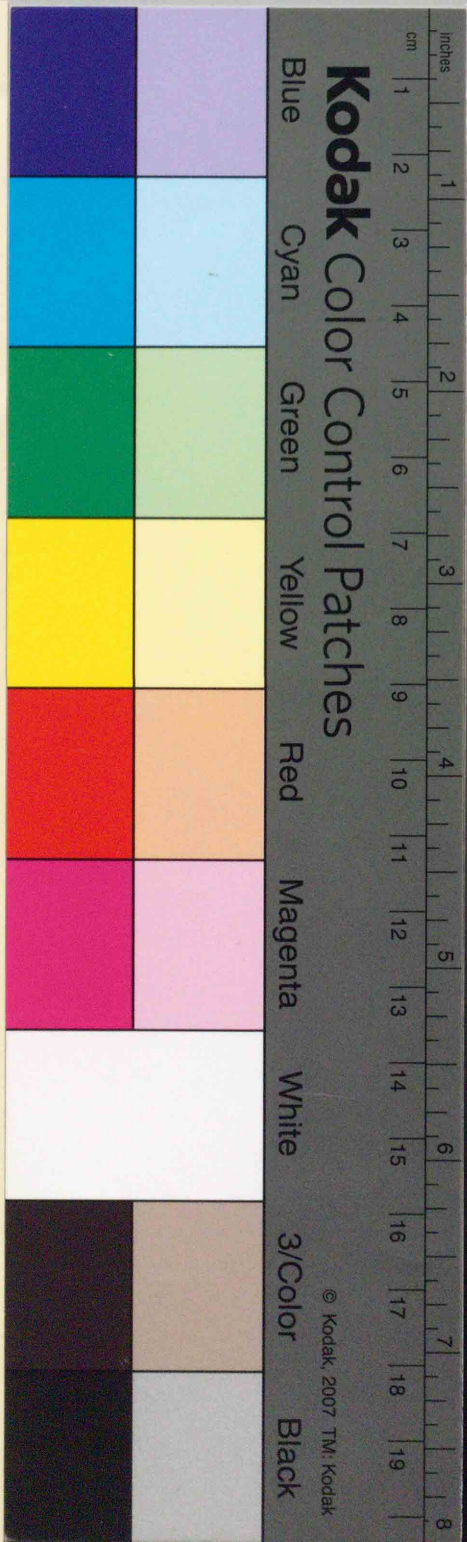


41037

教科書文庫

4
760
42-1934
01304
49455



中央図書館

昭和九年二月十三日
文部省検定済
高等女学校音楽科

昭和十一年八月八日
文部省検定済
実業学校音楽科用

永 田 井 中 幸 銀 次 之 助 編

昭和實科
女子音楽教科書
卷之二

永 井 幸 次
田 中 銀 之 助
共 編

大阪音楽学校楽友會
出版部藏版

広島大学図書

0130449455



緒 言

本書は四ヶ年制の高等女學校及實業女學校の音楽教科書として編纂したのである。

由來高等女學校並に實業女學校は各々其特色立場を異にして居るが編者は此の點を十分考慮して其の何れにも適應する様周到なる注意を拂つて茲に其の完成を見たのである。

即本書は第三卷を以て一先づ完結し、尙進んで學ばんとする人々(第四學年)のために第四卷をも編纂し其の相互の連絡を計つたのである。

故に修業年限三ヶ年の實業に關する女學校としても、修業年限四ヶ年の高等女學校並に實業女學校としても共に本書を採用して音楽教育の實を擧げる事が出来るのである。

編 者 識

昭和實科
女子音樂教科書
卷之二

目次

目次

第一學期

春	一
(一)	四度音程圖解.....	二
(二)	音程練習(四度音程) 1. 2.....	三
友だち	四
(三)	ニ調長音階圖解.....	六
(四)	ニ調長音階説明.....	七
(五)	問題.....	七
(六)	ニ長調讀譜練習.....	七
尊き國	八
老いたる農夫	一〇
かへる家路	一二
養 蠶	一四
(七)	$\frac{3}{8}$ 拍子と $\frac{6}{8}$ 拍子.....	一六
裁 縫	一六

目

第二學期

山路の眺め.....	一八
庭の草花.....	二〇
第二學期	
稻の穂波.....	二二
(八) 變 \square 調長音階圖解.....	二四
(九) 變 \square 調長音階說明.....	二五
(一〇) 調子記號.....	二五
(一一) 問題.....	二五
(一二) 變 \square 長調讀譜練習.....	二五
皇 祖.....	二六
樂しき學校.....	二八
わが故郷.....	三〇
團樂の歌.....	三二
(一三) 複音練習.....	三四
(一四) 聲域.....	三五
(一五) \mathbf{I} 調長音階圖解.....	三六
(一六) \mathbf{I} 調長音階說明.....	三七
(一七) 問題.....	三七
(一八) \mathbf{I} 長調讀譜練習.....	三七
克 己.....	三八
護良親王.....	四〇

次

二

御代の榮.....	四二
-----------	----

第三學期

(一九) 五度音程圖解.....	四四
(二〇) 音程の轉回.....	四四
(二一) 音程練習(五度音程) 1.2.....	四五
(二二) 變 \mathbf{H} 調長音階圖解.....	四六
(二三) 變 \mathbf{H} 調長音階說明.....	四七
(二四) 問題.....	四七
(二五) 變 \mathbf{H} 長調讀譜練習.....	四七
校 友 會.....	四八
子 守 唄.....	五〇
乙 女.....	五二
夜 の 梅.....	五四
日 の 出.....	五六
鶯 告 春.....	五八
樂 典 總 括.....	六〇

目

次

三

♩ = 126.

春

ケルン



1. ナ ゴ ム ヒ ノ ウ ナ バ ラ ノ ナ
 2. う す が す む や ま や ま の き

春



ミノオ ト ハ ノ ド ケ ク シ ホ ノ カ
 き は も や に う き つ つ は な は え



チ リ ハ タ カ ク ア ハ レ ワ ガ ハ ル
 だ に ゑ み つ つ あ は れ わ が は る



ハ ウ ミ ニ ミ チ テ エ タ カ ナ リ
 は ち に ゑ わ き て の ど か な る

春

安東正郎

一、和む陽の海原の
 波の音は長閑けく
 潮の香は高く
 あはれ 吾が春は
 海にみちて

ゆたかなり

二、うすがすむ 山々の
 木々は霧に うきつゝ
 花は枝に ゑみつゝ
 あはれ 吾が春は
 地にぞ湧きて のどかなる

(一) 四度音程圖解

完全四度

完全四度

増四度

完全四度

完全四度

完全四度

四度音程

完全四度 = 二全音半

増四度 = 三全音

(二) 音程練習

(四度音程)

友 だ ち

獨逸民謡

普通 ♩ = 120

友
だ
ち



1. コ カゲノヂ ンドリニ ハノオニ ゴ マ
2. は るの のつ みぐさは なのかざ し じ
3. マ ナビノワ ザラバト モニハゲ ミ ア



マゴトハ ネットキマ リノアソ ビ ウ
しどりた けがりこ のみひろ ひ こ
シキタイ サメテヨ キニスス ム ワ



キコトシ ラースラ サナキム カーシオ
ころをお かーぬを さなきむ かーしお
レラノケ フーノ マ コトノコ コーロカ

四



モヘバウ レシヤト モノームツー ビ
もへばた のしやと ものむつー び
へセジワ スレジト ハニートハー ニ

三

永^と變^は久^はに 我^は等^はの 今日^の 惡^しき^をを 諫^めて 學^びの 業^をを ば 思^へば 樂^しや 心^をを 置^かぬ 虫^をを 捕^り茸^がり 春^野の 摘^草 思^へば 嬉^しや

二

木^蔭の 陣^取り ま、事^羽ねつき うき事^知らぬ 思^へば 嬉^しや

一

友 だ ち

庭^の鬼^ご 毬^の遊^び 幼^き昔^の 友^の睦^び 花^の挿^頭 木^の實^拾ひ 幼^き昔^の 友^の睦^び 共^に勵^み 善^きに 進^む 眞^實の 心^を 忘^れじ 永^と久^はに

犬
童
球
溪

友
だ
ち

五

(三) ニ長調音階圖解

ニレ ¹	ソ ²	ド ³
ハド ¹	ファ ²	#スイ ³
ロスイ ¹	ミ ²	ラ ³
イラ ¹	レ ²	ソ ³
トソ ¹	ド ²	ファ ³
ヘファ ¹	#スイ ²	#ミ ³
ホミ ¹	ラ ²	レ ³
ニレ ¹	ソ ²	ド ³
ハド ¹	ファ ²	(#)スイ ³
ロスイ ¹	ミ ²	
イラ ¹	レ ²	
トソ ¹	ド ²	

ハ長調

ト長調

ニ長調

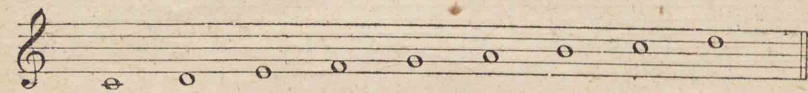
(四) ニ長調音階說明



ニ長調音階

(五) 問題

一. 次の音列をニ長調として必要なる個所に臨時記號を附せよ。



二. 次の樂譜に於ける臨時記號は曲に如何なる變化を與へるか。



(六) ニ長調讀譜練習 (并=音名記入)



尊 ぎ 國

獨逸民謡

尊
ぎ
國



1. アマ ツカミサ ダメシスー メラミク
2. さし のぼるあ さひの たー ださすく



ニ クニ ツカミカ タメシヤー マトシマ
に あか ねさすゆ ふひの ひー てー るく



ネ 1. ウチ ワタスセ カイニ タク ヒナ キス
アメ ツチトユ ルガズ トコ トハニサ
に 2. うち わたすせ か いに たぐ ひ なきす
あ め つちとゆ る がす ど こ とはにさ



グレシ タフ トー キク ニ
カユク タフ トー キク ----- ニ
ぐれし たふ どー きく に
かゆく たふ どー きく ----- に

八

尊
ぎ
國

尊 ぎ 國

九

二

一

あめつちと	うちわたす	あかねさす夕日の	さしのぼる朝日の	さし	あめつちと	うちわたす	世界に	たぐひなき勝れし尊き國	天つ神	皇御國
揺がず	揺がず	日照る國	直射す國	さし	揺がず	世界に	たぐひなき勝れし尊き國	倭島根	かためし	倭島根
永遠に榮行く尊き國	永遠に榮行く尊き國	永遠に榮行く尊き國	永遠に榮行く尊き國	永遠に榮行く尊き國	永遠に榮行く尊き國	永遠に榮行く尊き國	永遠に榮行く尊き國	永遠に榮行く尊き國	永遠に榮行く尊き國	永遠に榮行く尊き國

八
波
則
吉

老いたる農夫

フォスター

♩ = 92.



1. カシラニ シ モハオキテ ヒタヒニ ナ ミハヨレド
 2. やせたる ニ しのあたり まがれる さ まはあれど
 3. ラグラキ ア サニイテテ ラグラキ ヨ ヒニカヘリ



トルテノ ク ハハカロク カ リトルヲガマハス
 うしおふ う たはたへに う まひくたづなもゆ
 ヒトヒモ ヤ スムマナク ヒ ゴトニイソシムタ



ルドシ イ サヤ ウテヨ イ ヘノタメニ オ
 るめす い ざやおへよ い へのためニ お
 ノシサ イ サヤ イデヨ イ ヘノタメニ オ



イテモチカラハア フルル イ サヤ カレヨ ク
 いてもちからはあ ふるる い ざや ひけよ く
 イテモチカラハア フルル イ サヤ ユケヨ ク



ニノタメニ オ イテモヲゴコロタ ケシヤ
 へのために おお いてもをごころた けしや
 ニノタメニ オ イテモヲゴコロタ ケシヤ

老いたる農夫

一〇

老いたる農夫

一一

老いたる農夫

犬 童 球 溪

一、

頭に霜はおきて 額に波は寄れど
 握る手の鍬は軽く 刈りとる小鎌は鋭し

いざや耕てよ 家の爲めに 老いても 力は溢るゝ
 いざや刈れよ 國の爲めに 老いても 雄心猛しや

二、

瘠せたる腰のあたり 曲れる態はあれど
 牛追ふ唄は妙に 馬曳く手綱も弛めず

いざや追へよ 家の爲めに 老いても 力は溢るゝ
 いざや曳けよ 國の爲めに 老いても 雄心猛しや

三、

小暗き晨に出でて 小暗き宵に歸り
 一と日も休む間なく 日毎にいそしむ楽しさ

いざや出でよ 家の爲めに 老いても 力は溢るゝ
 いざや行けよ 國の爲めに 老いても 雄心猛しや

かへる家路

ピシヨツブ.

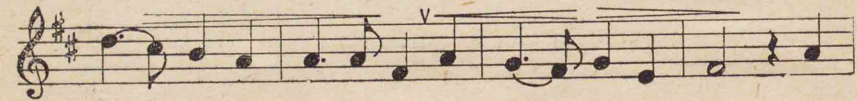
♩ = 76.



1. ユフヤケノソラアカーアカトタ
2. ひねもすのらにたがーやしてい



ソガレソムルノノーハテニマ
つしかくるるいりーあひのか



キーノコブエノネモーホソクヒ
ねーのひびきにおくーられてう



ツジノムレヲオヒーテユク
しおひてゆくなはーてみち



アアケフノヒモヤ
あこよひまたこ



スラカニラヘカヘルイヘヂ
ころたひらにかへるいへぢ

かへる家路

二

かへる家路

一三

かへる家路

◎牧場

松岸寛一

一、夕やけのそらあかあかと

たそがれそむる野のはてに

牧の小笛の音も細く

羊の群を追ひて行く

あゝ 今日の日もやすらかに終へかへる家路

◎田園

二、

日ねもす野良にたがやしていつしかくるゝ入相の

鐘の響におくられて

牛おひて行く 噺道

あゝ 今宵また

こゝろ平に

かへる家路

養 蠶

宮 脇 義 臣

一、 小 さ き 殻 より 瞬 化 し 毛 蠶 掃 き 下 さ れ て 養 は る

一 眠 二 眠 三 四 眠 目 醒 む る 度 に 衣 を ぬ ぎ 竹 村 に

一 心 不 亂 に 新 桑 を 食 む そ の 音 は 竹 村 に

そ ぐ 小 雨 の ご と く な り

二、 わ が 世 の 業 は 終 へ た り と い は ぬ ば か り に 頭 上 げ

浪 の 形 に 立 て ら る 葉 の 簇 に 糸 を は き

わ れ と わ が 身 を つ づ み ゆ く 白 く 光 れ る そ の 繭 は

玉 に お と ら ぬ た か ら な り

三、 春 夏 秋 と ひ き つ づ き よ る と 晝 と の 區 別 な く

桑 摘 み 葉 き り 座 を か へ て 息 む 間 も な く い そ し む は

世 に も 尊 き 業 に こ そ こ の 勞 ぞ 我 國 の

富 強 の 基 築 く な る

養 蠶

永 井 幸 次

♩ = 100.

1. チ ヒ サ キ カ ラ ヨ リ イ テ シ ケ ゴ
わ が せ の 業 は 終 へ た り と い は ぬ ば か り に 頭 上 げ

2. わ が 身 を つ づ み ゆ く 白 く 光 れ る そ の 繭 は

3. ハ キ オ ロ サ レ テ ヤ シ ナ ハ ル
い キ は ロ サ レ テ ヤ シ ナ ハ ル

1. イ チ ミ シ ャ
イ ツ シ シ の ど ミ モ

メ サ ム ル タ ビ ニ 一 キ タ ヌ ラ ヌ キ ニ
ハ わ ら ス ノ の く ム イ ノ ー タ オ ま ひ マ ツ ト ぶ か モ キ ニ ハ し れ ナ ツ 一 に る ク ー

(七) $\frac{3}{8}$ 拍子と $\frac{6}{8}$ 拍子との比較



裁 縫

アックノーン.

$\text{♩} = 126.$



1. マ ツ ソ ウ タ ケ ハ カ リ シ
 2. は り の は ニ ビ す み や か
 3. ケ フ モ ヒ ト ヒ タ チ ヌ ヒ



リ ア ヤ マ リ ナ ク
 に て ぎ は た へ に
 ノ ミ チ ニ ハ ゲ ミ



タ チ ラ へ テ へ ラ ツ ケ シ
 い ざ め は ん た の し さ
 ス ゴ シ ナ シ ウ レ シ サ ヨ

裁
縫

十一

一、まづ 總^ち丈^ず
 あやまりなく はかり知り
 へらつけん
 大桑いよ子

二、針の運び すみやかに
 いざ縫はん たのしさよ

三、今日もひと日 たちぬひの
 過ぎなん うれしさよ

裁 縫

裁
縫

一七

山路の眺め

レイロ

♩ = 132



1. ミ ギニヒタ リニミ チーハチ レーノ
 2. す ぎまをぬ けてみ ねにちか しーか
 3. ナ ガルルカ ハノユ クーハテ ニーア



ホルヤーマ チヤトホクチーカクーナ
 へりみーす ればどほくしーろくーは
 ナナツーカ シキウ ミモミーユレーカ



クナルート リノコ エモタノ シー
 るかにーう ねるーみ ちもみえ てー
 ヘルシーラ ホカーホ ノカナー ルー

山路の眺め

一八

山路の眺め

山路の眺め

一九

一、右に左に

登る山路や

鳴くなる鳥の

道は折れ

遠く近く

聲もたのし

大

井

廣

二、杉間をぬけて

かへり見すれば

峯に近し

遠く白く

遙かにうねる

道も見えて

三、流るゝ川の

あななつかしき

ゆくはてに

海も見ゆれ

かへる白帆か

ほのかなる

庭の草花

田中銀之助

庭の草花

mf $\text{♩} = 108$

1. ア シ タ ノ ヒ カ リ ツ チ ニ ウ ル ミ
 2. は ず ゑ に つ ゆ の に ま と む す び
 3. オ モ ヘ バ ナ ガ ク ハ グ ク ミ キ シ

テ ウ エ ノ ク サ ノ ー メ ー モ イ キ イ キ
 ゆ ふ ベ の ひ か り ー や ー ど る あ は れ
 ニ ー ハ ノ ラ グ サ ノ ハ ー ナ ラ ツ ケ テ

シ タ タ ル バ カ リ ー ミ ツ ラ ア ゲ ー テ
 つ ー ぼ み ふ く れ て あ す は さ か ー ん
 ナ ー ツ ノ ヒ カ リ ヤ ア キ ノ ツ ユ ー ノ

オ ー ノ モ オ ノ モ ニ イ ノ チ キ ホ フ
 や さ し や く ー さ の け ふ を ね む る
 ニ ー ホ フ バ カ リ ニ イ ノ チ キ ホ フ

二〇

庭の草花

庭の草花

大

井

廣

二二

一、あしたの光
 手植の草の
 したゝるばかり
 おのもおの
 芽もいきいき
 水をあげて
 いのちきほふ

二、葉末に露の
 夕べのひかり
 蕾ふくれて
 やさしや草の
 玉とむすび
 やどるあはれ
 あすは咲かん
 今日を眠る

三、おもへば長く
 庭の草の
 夏にほふ
 花をつみ
 秋のつゆの
 ちきほふ

稲の穂波

獨逸民謡

♩ = 126.
mp

1. アキ ハキヌチマ チダニオヒ シゲルワセ
2. いね はのびさはりなくほは たれぬいと

mf

オーケーテ ソヨ ソヨトフク カゼニイナ
ながーく そよ そよとふく かぜにいな

mf

バツナビク ミーヨミヨウ ツクシミー
ぼぞなびく みーよみよう つくしこー

ドリソソ ノナミアメ トカゼトキ
がねのそ のなみに たみのとみ

mf

ラエシメデ タキ オホミー ヨ
さかえゆた けき おほみー よ

稲の穂波

官 協 義 臣

一、秋は來ぬ 千町田に おひしげる 早稲晩稲
そよそよと 吹く風に 稲葉ぞなびく
見よ見よ うつくし みどりの その波

雨と風 時を得し めでたき大御代

二、稲はのび さはりなく 穂は垂れぬ いと長く
そよそよと ふく風に 稲穂ぞなびく
みよ見よ うつくし こがねの その波

國民の 富み榮え ゆたけき大御代

(八) 變口調長音階圖解

	ド ¹	ファ ¹ へ
	スイ	ミ ¹ ホ
	ラ	レ ¹ ニ
	ソ	ド ¹ ハ
	ファ ¹	スイ ¹ ロ
ド ¹ (b)	ファ ¹ b	スイ ¹ ロ
スイ	ミ	ライ
ラ	レ	ソト
ソ	ド	ファ ¹ へ
ファ ¹ b	スイ ¹	ミ ¹ ホ
ミ	ラ ¹	レ ¹ ニ
レ	ソ ¹	ド ¹ ハ
ド ¹ b	ファ ¹ (b)	スイ ¹ ロ

變口長調

へ長調

ハ長調

(九) 變口調長音階說明

(一〇) 調子記號 (變口長調)

(一一) 問題

次に示せる樂譜に臨時記號を附して變口長調とせよ。

次の樂譜の臨時記號は曲に如何なる變化を與へるか。

(一二) 變口長調讀譜練習 (并ニ音名記入)

皇 祖

ライハルト.

♩ = 104.



1. | レ キ シ ニ ハ エ ア ル ワ レ ラ ノ クー
 | イ ス ズ ノ ナ カ レ ノ イ ヤ ト コー シー
 2. | ひ か し に ひ い づ る わ れ ら の クー
 | た ふ ど き み す る の い や つ ぎ ー つー



ニ ヨ ミ メ グ ミ ア マーネー ク ク
 へ ニ ミ メ グ ミ ア マーネー ク ク
 に よ み い づ の ひ かーりー は せ
 き に み い づ の ひ かーりー は せ



サ キ ノ ハ テーニーモ タ リ ウルーホー ヘリ
 か い に く まーなーく か が や きーわー た る

皇 祖

皇 祖

一、歴史に榮ある
 五十鈴の流れの
 みめぐみあまねく
 たりうるほへり
 我等の國よ
 いやとこしへに
 草木のはてにも

松 岸 寛

二、東にひいづる
 尊き御末の
 御稜威の光は
 輝きわたる
 我等の國よ
 いやつぎくに
 世界に限なく

皇 祖

樂しき學校

パートビユーレー。

樂しき學校

♩ = 92.

1. ヒゴ ト ウチツ レ カヨ フ ワレラ チ エミ
 2. まな び を へつ つ か へ る われら を ぶみ

テ ムカフ ルー アハ レニハノコダ チ タノシ
 て おくる かー あは れにはのこだ ち たのし

キ マナビ ヤ ワレラ ガ マナビ ヤ ケフシ
 き まなび や われら が まなび や あすし

モ マナバンタ ノシキワレラ ガ マナビ ヤ
 も まなばんた のしきわれら が まなび や

二八

樂しき學校

樂しき學校

犬 童 球 溪

二九

一、日毎打つれ通ふ我等を

笑みて迎ふる あはれ校庭の樹立

樂しき學校 我等が學校

けふしも學ばん 樂しき我等が學校

二、學び終へつゝ歸る我等を

笑みて送るか あはれ校庭の樹立

樂しき學校 我等が學校

明日しも學ばん 樂しき我等が學校

わが故郷

アムハート・カレツジ・ソング。

わが故郷

$\text{♩} = 100$
mf

1. チチ ハハハイ カニカアネ イモイカニ カナ
2. あに おどどい かにかども びどいかに かは
3. アノ モリハイ カニカアノ イケイカニ カオ

ミダニワ カーレーテ イマ ハヤイクト セ ユク
るかにし のびていま はやいくとせよる
モヒーヲ ハ コービーテ イマ ハヤイクト セ ノハ

ミヅキヨ クムラ ヤマタカ クト チタルマ
なみしろ くいそ まつあを くどちたるま
ラハヒロ クチマ チダトホ クト チタルマ

ナコーニアハ クウカブアア ナツカシヤフル サトノケシ キ
なこにあは くらつるああ なつかしやふる さどのけし き
ナコーニアハ クミユルアア ナツカシヤフル サトノケシ キ

三〇

三	二	一
思あ	遙兄	涙父
ひの	か弟	に母
閉野を森	閉寄に如	閉行別は
あぢ原運は	あぢる忍何	あぢくれ如
ゝたはび如	ゝた波びに	ゝた水て何
なる廣て何	なる白てか	なる清にか
つ眼くにか	つ眼くにか	つ眼くにか
かに	かに	かに
し	し	し
や	や	や
今あ	今友	今姉
淡千はの	淡磯は人	淡群早妹
故く町や池	故く松や如	故く山幾如
郷見田幾如	郷映青幾何	郷浮高年何
のゆ遠年何	のるく年か	のぶくにか
景るくにか	景色	景色

わが故郷

犬
童
球
磨

わが故郷

三一

團 樂 の 歌

田中銀之助

♩ = 112.



1. ハナ サクニハベ ニ ツキ テル コーカゲ ニ ココ
2. かね さくなつ の ひ こがらし すさぶ よ つと



ロモノードー カ カタ ラーヒームツー ブ イへ
めををへて やすらふつどひ へだ



ビトノタノ シサモスメ ラ ギノメグ ミ タフ
てなきたの しさもすめら ぎのめぐみ たふ



ト シヤソノ メ グミアア ソノ ミメグ ミ
と しやその めぐみ ああ その みめぐみ

團 樂 の 歌

三三

團 樂 の 歌

團 樂 の 歌

一、花 咲く

月 照く

庭 べに

木 蔭に

大 桑 い よ 子

家 人 心

す 人 の も

樂 し さ も

語 ら ひ 睦 ぶ

た め の

あ ふ ら の

め ぐ み

み め ぐ み

二、

鐵 木

熔 枯

夏 の 日

す さ ぶ 夜

休 ら ふ 集 ひ

へ 木 務 枯

す だ 務 を

樂 し さ も

め ぐ み

た め て

あ ふ ら な

め ぐ み

み め ぐ み

あ ふ ら

と ぎ

め ぐ み

み め ぐ み

し の

そ や

め ぐ み

み め ぐ み

そ や

の

め ぐ み

み め ぐ み

(一三) 複音練習

(一四) 聲域

人聲の區域

女聲	女子高聲 (ソプラノ) 上高音
	(女子中聲) (メッツォソプラノ) (中高音)
	女子低聲 (アルト) 高音
男聲	男子高聲 (テノール) 保持音
	(男子中聲) (バリトン) (上低音)
	男子低聲 (ベース) 低音

男子低聲 (低音)	低音男子 (保持音)	高聲次中 (高音)	女子高聲 (上高音)
--------------	---------------	--------------	---------------

(一五) イ調長音階圖解

ニレ	ソ	ド	ファ
ハド	ファ	#スイ	(#)ミ
ロスイ	ミ	ラ	レ
イラ	レ	ソ	ド
トソ	ド	ファ	#スイ
ハ	#スイ	#ミ	#ラ
ホミ	ラ	レ	ソ
ニレ	ソ	ド	ファ
ハド	ファ	(#)スイ	#ミ
ロスイ	ミ	ラ	レ
イラ	レ	ソ	ド

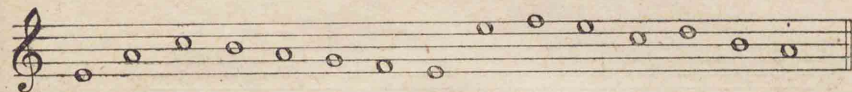
ハ長調 ト長調 ニ長調 イ長調

(一六) イ調長音階説明

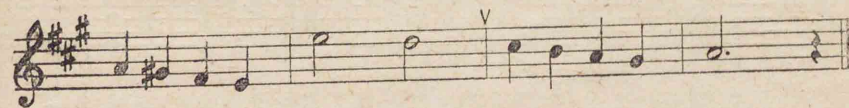
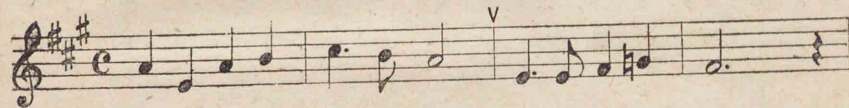


(一七) 問題

次の音符に臨時記號を附してイ長調とせよ



次の樂譜の臨時記號は曲に如何なる變化を與へるか



(一八) イ長調讀譜練習 (并=音名記入)

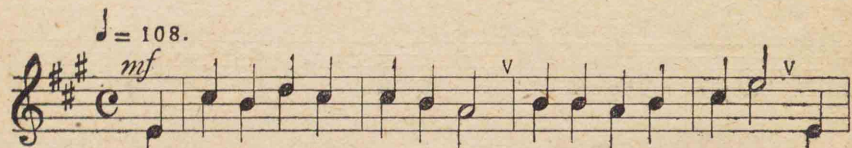


克 己

未 詳

克

己



1. オ ホソラ タ カクモ ソビエ タ テル ア
2. ま がね を ど か さん な つ の ひ に も は



フ グ モ ラ ラ シ キ カ シ ノ ス ガ タ フ タ
だ へ を つ ん ざ く ふ ゆ の ひ に も も ゆ



ウ ノ イ キ ハ ミ ナ ギ リ ア フ ル ワ レ ラ ワ レ ラ ワ カ キ ミ ノ ク ナ
る ち し ほ の た か な り お ほ ゆ わ れ ら わ れ ら わ か き み の ひ か



ン ノ マ ヘ ニ ナ ニ タ カ ヒ ル ム ワ レ ラ ワ カ キ ミ ノ
り は ど は に ゆ く て を て ら す わ れ ら わ か き み の

三八

克

己

克 己

松

岸

寛

一

三九

一、大空高くも

仰ぐも雄々しき

不撓の意氣は

吾等 われら

苦難の前に

吾等

わかき身の

何をかひるむ

聳えたてる

櫂の姿

漲りあふる

若き身の

松 岸 寛 一

二、

眞鐵をとかさん

肌をつんざく

吾等 われら

光は永遠に

われら

若き身の

行手を照す

夏の日にも

冬の日にも

高なりおぼゆ

若き身の

護 良 親 王

獨 逸 民 謡

護 良 親 王

♩ = 60.

1. ケンム ノー チュウ コウ ナラズシ テー
2. なん ぶうき そふ ひまもなく

mf

ツチ ラウノ ヤミニ キエターマフ
みたまは とほに ねむりーま す

f

ミウラミ ナガク イーマモーナホ
かなしき みあそ そーのまーま に

四〇

mp

カマクーラ ヤマ カゼサームシ
かまくーら やま つゆしーげし

護 良 親 王

護 良 親 王

松 岸 寛 一

一、

建武の中興
土牢の暗に
み恨み長く
今もなほ
消えたまふ
ならずして

鎌倉山
風寒し

二、

南風競ふ
み魂はとほに
隙もなく
眠ります
そのまゝに
露しげし

鎌倉山

四一

Handwritten notes and scribbles at the top left of the page.

御代の榮

アングノーン.

御代の榮

♩ = 112. *mf*

1. ア マ ツ ヒ ツ ギ ト ハ ニ ナ ガ ク ー カ
 2. く に の も と む と は に か た く ー ゆ

ア ガ ス エ フ ハ ラ ヌ ミ ヨ ノ タ フ ト サ ヨ
 る が む み よ の た ふ と さ よ

エ マ シ ク ニ ワ レ ラ ノ ク ニ ハ ミ
 ウ マ シ ク ニ ワ レ ラ ノ ク ニ ハ ヨ
 か が や か し ひ い づ る く に は う
 か が や か し ひ い づ る く に は う

メ グ ミ ノ ツ ユ ハ テ ヨ リ ハ ヤ テ ニ タ
 ロ ツ ヨ ト ホ ク ナ ミ カ ゼ タ タ ズ サ
 い づ の ひ か り よ も を ば て ら し そ
 た い の は て に あ ま ね く し ら れ ほ

ハ リ ウ ル ホ ケ エ ン エ ス テ タ サ ヨ
 カ エ テ ヤ マ ー ヌ メ デ タ サ ヨ
 の な も た か ー き め で た さ
 ま れ も た か ー き め で た さ

四二

Handwritten notes and scribbles at the top of the right page.

御代の榮

御代の榮

一、天津日嗣
 かはらぬ御代の
 うまし國
 御恵みのつゆ
 たり露ほへる
 尊さよ
 とはにながく
 われらの國は
 果より果に
 めでたさよ

二、國のもと
 ゆるがぬ御代の
 尊さよ
 とはにかたく
 日いづる國は
 四方をば照し
 めでたさよ

三、國のもと
 ゆるがぬ御代の
 尊さよ
 とはにかたく
 日いづる國は
 四方をば照し
 めでたさよ

四、國のもと
 ゆるがぬ御代の
 尊さよ
 とはにかたく
 日いづる國は
 四方をば照し
 めでたさよ

五、國のもと
 ゆるがぬ御代の
 尊さよ
 とはにかたく
 日いづる國は
 四方をば照し
 めでたさよ

六、國のもと
 ゆるがぬ御代の
 尊さよ
 とはにかたく
 日いづる國は
 四方をば照し
 めでたさよ

七、國のもと
 ゆるがぬ御代の
 尊さよ
 とはにかたく
 日いづる國は
 四方をば照し
 めでたさよ

八、國のもと
 ゆるがぬ御代の
 尊さよ
 とはにかたく
 日いづる國は
 四方をば照し
 めでたさよ

九、國のもと
 ゆるがぬ御代の
 尊さよ
 とはにかたく
 日いづる國は
 四方をば照し
 めでたさよ

十、國のもと
 ゆるがぬ御代の
 尊さよ
 とはにかたく
 日いづる國は
 四方をば照し
 めでたさよ

松 岸 寛 一

四三

Handwritten notes and scribbles at the bottom of the right page.

(一九) 五度音程圖解

Diagram illustrating five-degree intervals on a staff. The notes are labeled vertically as follows: **ファミレド** (top), **レドスイ**, **ラソファミ**, **レド** (bottom). Brackets on the left and right sides group these notes into four pairs, each labeled "完全五度" (Perfect Fifth). The interval between the top and second notes is labeled "減五度" (Diminished Fifth).

五度音程
 完全五度 = 三全音 一半音
 減五度 = 二全音 二半音

(二〇) 音程の轉回

Two staves of musical notation showing interval inversions. The first staff shows: **完全四度**, **完全五度**, **増四度**, **減五度**. The second staff shows: **完全五度**, **完全四度**, **減五度**, **増四度**.

(二一) 音程練習

(五度音程)

Two staves of musical notation for five-degree interval exercises. The first staff is labeled "1" and the second "2". Both staves contain a sequence of notes with stems pointing up and down, illustrating the intervals between them.

(二二) 變ホ調長音階圖解

ド [♭]	ファ [♭]	ス ₁	ホ	ミ [♯]
ス ₁	ミ [♯]	ラ	ニ	レ [♯]
ラ	レ [♯]	ソ	ハ	ド [♯]
ソ [♭]	ド [♭]	ファ [♭]	ロ	ス ₁
ファ [♭]	ス ₁	ミ	イ	ラ
ミ	ラ	レ	ト	ソ
レ	ソ	ド	ヘ	ファ
ド [♭]	ファ [♭]	ス ₁	ホ	ミ
ス ₁	ミ	ラ	ニ	レ
ラ	レ	ソ	ハ	ド
ソ [♭]	ド [♭]	ファ [♭]	ロ	ス ₁

變ホ長調

變ロ長調

ヘ長調

ハ長調

(二三) 變ホ調長音階說明

(二四) 問題

次の樂譜の臨時記號は曲に如何なる變化を與へるか

(二五) 變ホ長調讀譜練習 (并=音名記入)

校 友 會

ダーベナント.

♩ = 144.



1. ケフ ハシモオナジ マナビノトモ ツドフヨキヒ
2. むつ まじくおなじ まなびのみち たどるわがど



ゾ - ムツ マジクトモガ キツクリ アヒ
ち - へた" てなくふみの はやしを わけ



カタルヨキヒ ゾ" - イザ" ヤウタヘ イザ"
てゆくわがど" ち - この まどるの こど



ヤトモニヨロ コビヲウタハ ン - コト
のはぐさしを りにてすすま ン - もろ



ノハノハナモ ニホヒテアヒ カタルヨキヒ ゾ" -
ともにふみの はやしをわけ ゆかんわがど" ち -

校
友
會

四
八

校 友 會

文學博士 佐々木 信 綱

一、 今日 は し も

おなじ 學びの

友 集 ぶ

よき 日ぞ

睦 ま じ く

友 垣 つ くり

相 語 る

よき 日ぞ

いざやうたへ

いざやともに

よろこびを

うたはん

言の葉の

花も匂ひて

相 語 る

よき 日ぞ

二、 睦 ま じ く

おなじ 學びの

道 た だ る

わが ど ち

へだてなく

文の 林を

分けてゆく

わが ど ち

このまどるの

言の 葉草

しをりにて

進 ま ン

諸 共 に

文の 林を

わけゆかん

わが ど ち

校
友
會

四
九

子 守 唄

ブラームス.

♩ = 56-66.



1. トロ リ トロ リ トロ リ ノ フ ネ ハ ユ ラ
 2. どろ り どろ り どろ り の ふ ね は お じ
 3. トロ リ トロ リ オ メ メ ガ ト ロ リ タ カ



ユ ラ ユ レ テ ドー コーヘ ユ ク ヒロ
 ひ め さ ま の おー しーろ ま て さ んご
 ラ ノ フ ネ ニ ホー ラー ア ゲ テ ア チ



イ ウ ミ ノ ムー カ フ マ デ ナ ミ
 の は し ら るー り の や ね う つ
 イ ア チ イ ナー ミ ノ ウ ヘ ユ ラ



ラ コ エ テ ナー ミ -- コ エ テ
 る み づ の うー つ -- く し さ
 リ ユ ラ リ ドー コ -- ヘ ユ ク

子
守
唄

五〇

三

二

一

ゆ ら り ゆ ら り
 青 い 青 い
 寶 の 船 に
 とろり とろり
 う つ る 水 の
 珊 瑚 の 柱
 乙 姫 さ ま の
 とろり とろり
 波 を こ え て
 ひ ろ い 海 の
 ゆ ら ゆ ら ゆ れ て
 とろり とろり

ど こ へ ゆ く
 波 の 上
 帆 を あ げ て
 お め が とろり
 美 し さ
 瑠 璃 の や ね
 お 城 ま で
 とろり の 船 は
 波 を こ え て
 む か ふ ま で
 ど こ へ ゆ く
 とろり の 船 は

子 守 唄

松
岸
寛
一

子
守
唄

五一

乙 女

獨逸民謡

乙
女

♩ = 84.
mp

1. ヤマニサクハナカキネ
2. けかれにそまざるひどの

ニサクハナイロカハカハレ
ニおどめのこころもすがた

ドミカミノココロヲスナホ
もかくこそありけれげにげ

ニヤドシテキヨラニニホヘル
にはなにはみかみのやどれる

五二

乙
女

乙

女

今申楓溪

五三

一、

野山にさくはな

垣根にさくはな

色香は變れど

み神の心を

素直に宿して

清らに匂へる

二、

汚穢に染まざる

人の子乙女の

こゝろも姿も

かくこそありけれ

げにげに花には

み神の宿れる

夜の梅

ハーリゾン.

夜の梅

♩ = 104

1. サニハノクマニテホノホノ
2. ふみよむまごべにさやか

サケルヒトモトオイキノシラ
ゑめるひごもごわかきのしら

ウメアハレイロコソサダカニ
うめあはれつきかげてらせば

ソレトハミエネスミタルヨソ
はながさしるくみづえにほそ

ラニホシカゲウツスゲニ
えににほひはたらふげに

ニーカシヤハナノスガタ
ゆーかしやハナノココろ

五四

夜の梅

夜の梅

五五

一、
小庭の隈にて
一本老木の
色こそさだかに
澄みたる夜空に
げにゆかしや

二、
文よむ窓べに
一本若木の
月かげ照らせば
瑞枝に細枝に
げにゆかしや

ほのぼのさける
白梅あはれ
それとは見えね
ほしかげうつす
花の姿

さやかにゑめる
白梅あはれ
花笠著るく
にほひは足らふ
花の心

今中楓溪

日の出

獨逸民謡

日の出



1. ア カネニホソクヨ コーグモノ ミ ネヲハナレーテシ
2. の ぼるひかげのう つくしく く さばにむすぶし



ノノメノウ ゴーキソメシヤ マノソラソ
らつゆの の にみちみちたまにるわ



コーニココニトリナキテヒ ノーデヲマツウ
たるかぜにはらはらと ななつのいろにか



ターゴエノ タノシウレーシア サノマヨ
がやきて こぼれちるよあさのまを

五六

日の出

日の出

五七

一、

あかねに

ほそく

横雲の 峯

を

はなれて

東雲しのめの

大井廣

うごき

そめし

山の空

そこに

こゝに

鳥啼きて

日の出を

ま

つ 歌ごゑの

たのし

うれし

朝の間よ

二、

のぼる

日かげの

美しく

草葉に

むすぶ

白露の

野

に

みちみち

玉に似る

わたる

風

七

の

色

にかがやきて

こぼれ

ちるよ

朝のまを

鶯告春

一、我が庵は端山はやまの

里とほくなにごとも

花鳥ばかりは

春知る事のみ

みなみの麓

世におくるれど

ことたるすみ家か

餘所よそよりはやし

鳥居 枕

二、我が宿はこゝぞと

此の梅は手栽てうゑよ

花のみ咲きては

小鳥も來鳴きて

鶯來鳴く

したひて來るか

寂さびしきものを

春とはなすよ

鶯告春

ラムビルローテ.

♩ = 112.



1. ワカ イホハハ ヤマノミナ ミノフモート サト
2. わか やどはこ こぞどうぐ ひすきな一く この



トホクナニ ゴトモヨニ オクールレド ハナ
うめはて一うゑよした ひて一くる か はな



トリ バカリハ コト タルスミー カ ハル
のみ さきては さびしきもの一を こど



シル コト ノミ ヨソ ヨリ ハ ヤ シ
りも きなきて はる どはなすよ

樂典總括 ●の附したる分は前學年に學習したもの ○の附したる分は本學年に學習したもの

第一章 ●音樂 ●音名 ●階名

第二章 ●音 符

第三章 ●休 止 符

第四章 ●譜表加線音部記號

第五章 ●拍 子

強 起 弱 強

第六章 音 階 轉 調

●長音階ハ長調ト長調ヘ長調

- ニ長調 (六頁參照)
- ロ長調 (二四頁參照)
- イ長調 (三六頁參照)
- ホ長調 (四六頁參照)

轉 調

- ハ長調よりト長調に
- ハ長調よりヘ長調に
- ト長調よりニ長調に (四七頁參照)
- ヘ長調よりロ長調に (二二二五頁參照)

- ニ長調よりイ長調に (三二三七頁參照)
- ロ長調よりホ長調に (四七頁參照)

第七章 音程及其轉回

- 一度音程
- 二度音程
- 三度音程
- 四度音程 (二頁參照)
- 五度音程 (四四頁參照)
- 音程の轉回 (四四頁參照)

第八章 臨時記號

- ♯嬰 (シャープ)
- ♮本位記號 (ナチュラル)
- ♭變 (フラット)

第九章 ●發送記號並ニ發想標語

第十章 雜 記 號

- 延長記號 (ポーズ) ●結合線 (タイ)
- 連結線 (スラー) ●圓點 (スタッカート)
- 垂點 (スタッカティッシモ)
- 反復記號 ●省略記號

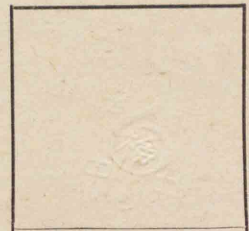
第十一章 ○聲 域

(三五頁參照)

昭和七年九月二十日印刷
昭和七年九月二十五日發行
昭和八年三月二十日修正再版印刷
昭和八年三月廿五日修正再版發行

昭和實科女子音樂教科書卷ノ二

定價 金四拾錢



不許複製拔萃

編纂者

永井幸次

編纂者

田中銀之助

發行者

永井幸次

大阪市東區味原町九九
大阪市東區唐物町一丁目三七

印刷者

山中金龍堂

大阪市東區味原町九九

發行所

大阪音樂學校樂友會

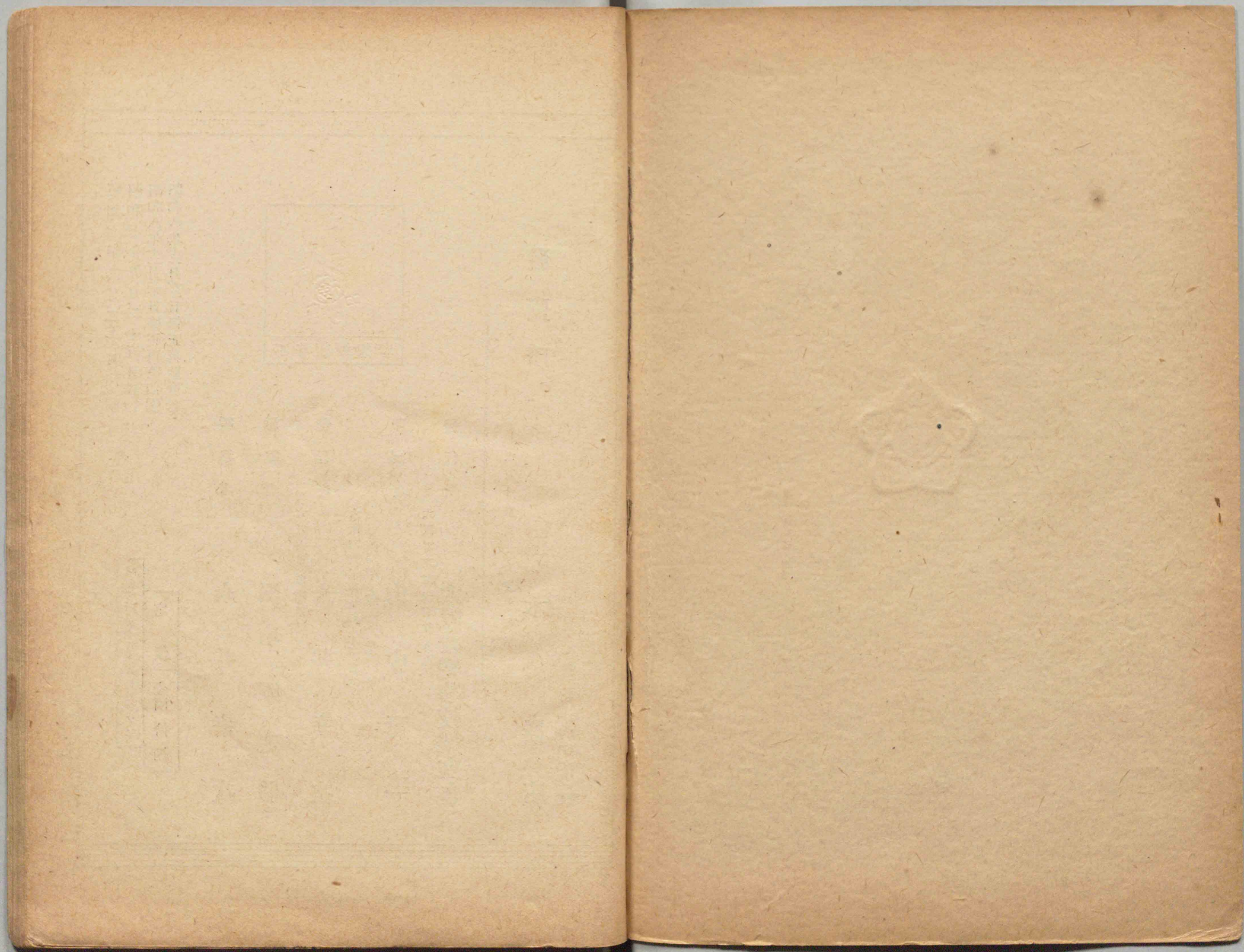
發賣所

三木樂器店

大阪市東區北久寶寺町四丁目

電話 船場八〇七番

1980.1.2



二年梅組
平野

広島大学図書

0130449455

